



社団法人 宮津青年会議所

# 創立45周年記念誌



Carpe diem

今を生き今を楽しめ 明日のために

## The Creed of Junior Chamber International

We Believe;  
我々はかく信じる

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;  
信仰は人生に意義と目的を与え

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;  
人類の同胞愛は国家の主権を超越し

That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;  
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され

That government should be of laws rather than of men ;  
政治は人によって左右されず法によって運営されるべきものであり

That earth's great treasure lies in human personality ; And  
人間の個性はこの世の至宝であり

That service to humanity is the best work of life  
人類への奉仕が人生最善の仕事である

## J C 宣言

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する

## 綱 領

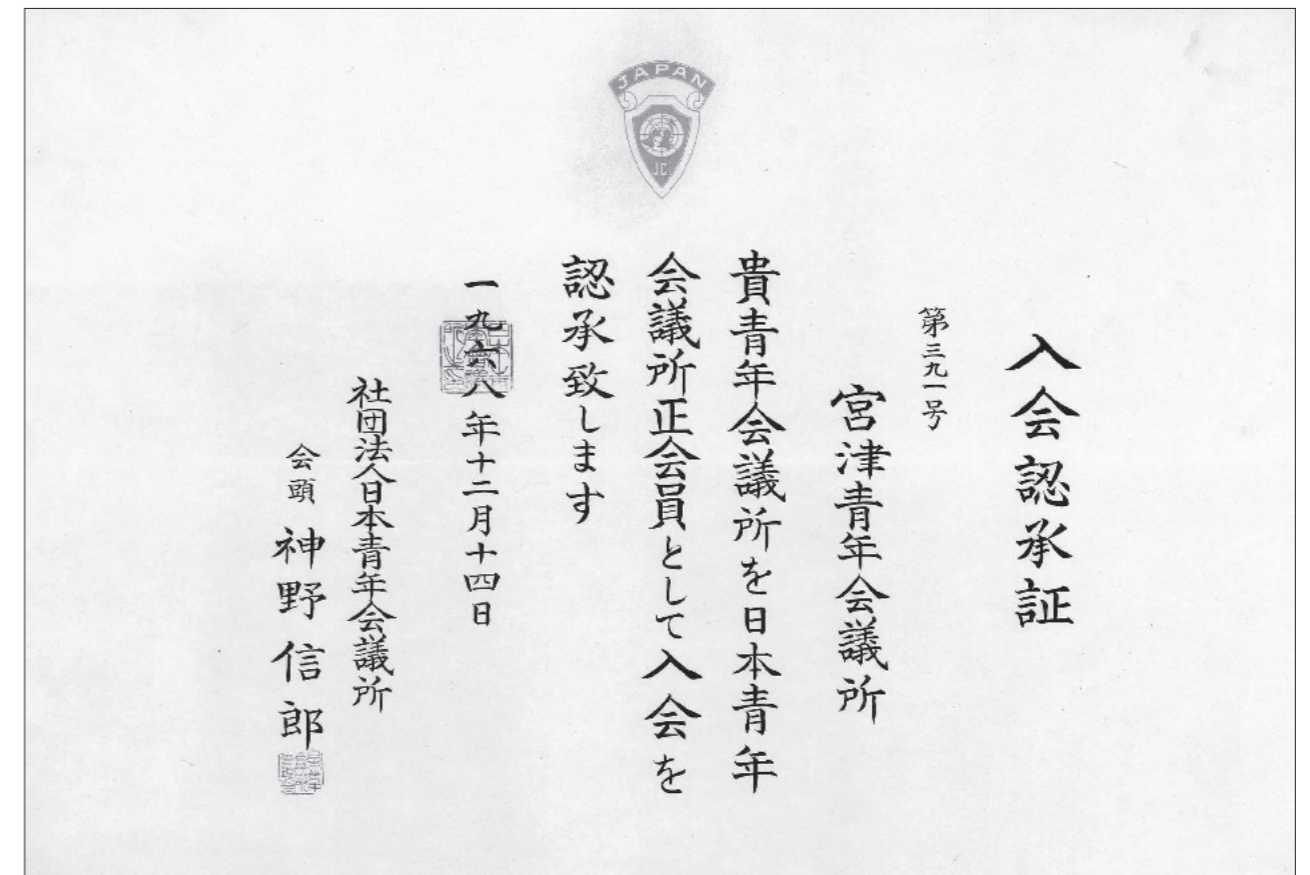
われわれ JAYCEE は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者、相集い、力を合わせ

青年としての英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう



## 目次

運動指針 (PRIDE2007～楽志共創～)	1
活動指針 (Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために)	2
ご挨拶	3
ご祝辞	4
これまでの歩み (創立～40年)	11
(41年～45年)	13
記念事業紹介	23
継続事業	25
理事長対談	27
メンバー紹介	29
特別会員・物故会員紹介	32

Carpe diem  
今を生き今を楽しめ 明日のために

## 創立50周年にむけての運動指針

## &lt; PRIDE2007 ~楽志共創~ &gt;

1968年明るい豊かな社会の創造を信じて英知と勇氣と情熱を持った青年たちによって設立された宮津青年会議所は本年創立40周年を迎えます。これまでに地域主権型社会の実現を掲げ、広域生活圏をも視野に入れ、地域に密着したまちづくりを展開してきました。それは行政形態の如何に関わらず、現在も宮津・与謝の未来を見据えた「ひとづくり、まちづくり」を推進することに他なりません。地方分権の名のもと急速な行財政改革が進む中、この宮津・与謝も一市四町から一市二町へと新たな枠組みとなりました。創始から「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと先輩たちによって積み上げられてきた四十年の基盤の上に立つ私たちの志は、寸分も違わずこの宮津・与謝の未来に向かってさらに強固なものとなっています。少子高齢化、人口減少、地場産業や地域経済の低迷、利己主義、無関心の蔓延等々、多くの問題に直面しているこの地域。全てはひとつの問題です。ひとの变革こそがまちを変革してゆくのです。

世界に誇る自立した地域として生き残るにはそれぞれのまちの個性を自覚し、役割を再認識し連携を取り、広域で取り組んでいかねばなりません。それにはこれま

での画一的な発展を目指している猶予はありません。一刻も早くそれぞれのエリアが得意とする魅力を増幅させ、ないものをつくらずに捨てる勇氣と覚悟を持ち、宮津・与謝の広域エリアでこそ完成するストーリーを発信しなければならないのです。この地域が独善から人々を守り、見方を深め、よりよきものを生み出す叡智ともいえる「3人寄れば文殊の知恵」といった素晴らしい言葉にある関係となった今こそ、天橋立物語のプロローグなのです。

真の地域主権を目指して自立した「明るい豊かな宮津・与謝」の実現に向け、「誇れるひと」「誇れるもの」「誇れるまち」の3つの「誇り」を機軸とした指針を掲げ、この地域のアイデンティティと絆の確立を目指し、運動を展開して参ります。宮津JCメンバー一人ひとりが、その自覚に基づく高い志をもって、果敢に実践・行動を繰り返し、使命を全うする事でこの地域でのリーダーシップを発揮し、より強固な組織を創り上げ力強く発信していきます。そして住民一人ひとりと共にこの地域を愛し「誇り」を持ち、豊かな心と世界に誇れるふるさと宮津・与謝を創造します。

- <誇れるひと>
  - ・郷土愛の醸成と人間力の活用
  - ・広域的な人的ネットワークの確立・発展
  - ・地域教育の役割の再認識と連携による次世代育成
- <誇れるもの>
  - ・天橋立を中心とした歴史的・文化的資産の発信及び活用
  - ・伝統技術の継承と地場産業の進化
  - ・地域の自然環境保全と循環型社会の確立
- <誇れるまち>
  - ・マニフェスト・サイクルの推進による協働型社会の実現
  - ・総合的視野に立ったまちづくりビジョンの提言
  - ・地域間の連携と相互理解による一体感の醸成

※2007年、有吉理事長(当時)が創立40周年記念式典において発表いたしました。  
(社)宮津青年会議所の10年間の指針として、我々の活動の羅針盤となっております。

## 創立50周年にむけての5ヵ年活動指針

## Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために

社団法人宮津青年会議所は、2007年度創立40周年において、「誇れるひと」「誇れるもの」「誇れるまち」の3つの「誇り」を機軸とした創立50周年にむけての運動指針「PRIDE2007～楽志共創～」を掲げ、「明るい豊かな宮津・与謝」の実現に向け、JC運動を展開して参りました。2012年度創立45周年の節目の年を迎えるにあたり、時代の変化にも柔軟に対応し、より地域に密着した活動を進めるべく、5ヵ年活動指針を掲げ、創立50周年にむけて明確な活動目標を持って、JC運動を進めて参ります。

私たちは、愛する宮津・与謝地域のために、まちの次代を担う子どもたちの郷土愛や道徳心を育み、地域住民と共に学び人間力を高め、故郷を愛するひとで溢れる一体感のある地域社会の醸成を目指して活動して参ります。また、歴史・文化・産業等に恵まれた地域として、様々な資源や個性・特性を活かし先人の想いや伝統を継承しながら、更にその魅力を高め地域へ広

く発信し、次代に引き継いでいかなければならないと考えます。そして、協働型社会の確立と住民自らの選択と責任による主体的な行動によって自立したまちへと変革を遂げるために、住民一人ひとりが社会的役割を認識し、自立と共助の調和した地域社会の実現を目指して活動して参ります。ひとがまちを創り、まちがひとを育むのであれば、私たち青年は、地域と共に自らも成長するものと考え、青年たる無限の可能性に果敢に挑戦し、時代を創っていくこの地域のファシリテーター(中立的仲介者)として、それぞれ培った知識や能力・経験を最大限に発揮し、この激動の時代を乗り越え、希望に溢れる未来を描き、その実現へ向けて、情熱溢れる運動を力強く展開して参ります。

今というこの時間を無駄にすることなく、今しかできないことを精一杯に、そして楽しみながら真剣に生きることが、明日につながり未来を創っていくと信じ、魅力と絆に溢れた誇れる宮津・与謝の創造に向かって行動することをここに誓います。

## 活動指針

宮津・与謝の青年として

まちの歴史・文化・こころを継承し  
誇りを胸に 知恵と想像力を活かし

共に歩み 絆を深め

新しい明日のために

果敢に行動することを誓う

## ご挨拶



宮津青年会議所  
第45代理事長

山添 宏明

社団法人宮津青年会議所は1968年「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと、明るい豊かな社会の創造を目指し、宮津市・伊根町・岩滝町・加悦町・野田川町の志高き50名の青年たちが集い、英知と勇気と情熱を結集し、社団法人舞鶴青年会議所様のスポンサーのもと、日本で391番目の青年会議所として誕生いたしました。設立以来45年間、地域に根ざした団体として行政・関係諸団体の皆様や地域の皆様と共に地域主権型社会の実現を目指し、様々なまちづくり事業やまちの次代を担うひとづくり事業を展開し、市民意識変革運動に取り組んで参りました。

創立45周年を迎える本年度は『絆の力』～想いをひとつに誇れる宮津・与謝の創造!～をスローガンにメンバーが共にひとつの目標にひたむきに挑戦することで強くなる「絆の力」を通して、私たちの愛するまち・ひとのために地域の未来を担う責任世代として自覚を持って誇れる宮津・与謝の創造を目指し、積極的に運動を展開するとともに創立45周年スローガン「Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために」を掲げ、今自分の近くにいる人を大切に、今しかできないことを意識して今を精一杯楽しみながらJC運動に邁進し、今日を真剣に生きることが明日につながり、未来を創っていくと信じてメンバー一丸となって果敢に行動して参りました。去る6月3日には「創立45周年記念式典並びに祝賀懇親会」を挙げて頂きました。記念式典において、2007年度に発信させていただいた創立50周年にむけての運動指針「PRIDE2007～楽志共創～」を時代の変化にも柔軟に対応進化させ、より地域に密着した活動を進めるべく5ヵ年活動指針を掲げ、創立50周年にむけて明確な活動目標を持って、JC運動を展開して参る気概と覚悟をお誓いさせていただきました。私たちは愛する宮津・与謝地域のために、青年たる無限の可能性に果敢に挑戦し、時代を創っていくこの地域のファシリテーターとしてそれぞれ培った知識や能力・経験を最大限に発揮し、この激動の時代を乗り越え、希望に溢れる未来を描き、魅力と絆に溢れた誇れる宮津・与謝の創造に向かって情熱溢れる運動を力強く展開して参ります。

今後とも私たち社団法人宮津青年会議所に対しまして皆様方より一層のご理解とご協力、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮津青年会議所  
創立45周年実行特別委員会  
委員長

堀尾 知弘



本年、宮津青年会議所はその誕生から45年という歴史を刻むことが出来ました。これも偏に先輩諸兄、地域の皆様のご協力と、各地青年会議所のメンバーの皆様の厚い友情によるものと深く感謝申し上げます。次第で御座います。

創立45周年を迎える本年、周年スローガンとして掲げました「Carpe diem(カルペディエム) 今を生き今を楽しめ 明日のために」は、古代ローマの詩人ホラティウスの詩の一節であり、その言葉には明日は死ぬかもしれないだから今日を精一杯生きようという意味が込められています。また、明日のためには、今日を真剣に生きることが明日につながり、未来を創っていくことを意味しています。戦後、焼け野原になった母国を見て志を立て、国のため、地域のため、そして自分たちの未来のために懸命に活動してきた黎明期の青年は、まさにこうした想いを胸に抱きつつ毎日を歯を食いしばって生き抜いてきたのであろうと思います。

今という現実に真摯に向き合い、何を行動すべきか。我々青年は、地域の担い手として決して諦めることなく未来を信じ行動しなければいけません。創立50周年にむけて掲げました活動指針は、そうした私たちの決意であります。

私たちは、この地域の青年として誇りと夢と希望を胸に、輝かしい未来とその実現に向かって努力を惜しむことなく果敢に行動し続けたいと思います。そして地域に必要とされる団体となれるようこれからも活動していく所存でございます。どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

Carpe diem  
今を生き今を楽しめ 明日のために

## ご祝辞



京都府知事

山田 啓二

社団法人宮津青年会議所の創立45周年を心からお祝い申し上げます。皆様方におかれましては、昭和43年の創立以来、歴代の理事長をはじめ、現山添理事長や会員の皆様、地域住民や団体の皆様とともに、「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、若々しい感性と柔軟な発想で地域社会、地域経済の発展に寄与いただいているところであり、その御尽力に対し、深く敬意を表しますとともに改めて感謝申し上げます。

特に貴会議所では、まちの次代の育成に力を入れられ、郷土愛を育む「宝探しアドベンチャー天橋立」事業や地域の魅力を実感できる青少年絵画交流事業など、地域と一丸となった、多様な事業を展開されているほか、いち早く一般法人への移行を予定されるなど組織的にも改善を図っておられ、今後も、ますます地域のリーダーとして地域の発展に御貢献いただけるものと期待しております。

京都府といたしましても、明るく豊かな社会を創造する皆様方の活動と連携しながら、昨年11月に日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港や、北近畿タンゴ鉄道の活用の促進、京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の平成26年度全線開通に向けた整備の促進、さらには、地域の医療機関である与謝の海病院の医科大学附属病院化などの地域医療機能の強化など、誰もが幸せを実感できる「明日の京都」をめざして精一杯取り組んでまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、創立45周年を契機として、皆様方が今後ますます御活躍され、地域の発展に一層御貢献いただきますことを期待申し上げます、お祝いの言葉いたします。



京都府議会議員

多賀 久雄

社団法人宮津青年会議所創立45周年記念誌発刊おめでとうございます。また、45年にわたり当地域の青年会議所活動を実践してこられた皆々様に、深い敬意を表しますとともに、次なる50周年に向けて大いなる歩みを始められましたことをお祝い申し上げます。

さて、皆様は、古代ローマの詩の語句を引用された「Carpe diem」を、「今を生き今を楽しめ 明日のために」と訳し、創立45周年のスローガンにされておられます。

皆様がどんなイメージを持ち、どんな思いを込められておられるのか存じませんが、言葉の含蓄を詳しく知らない私は、「神々が与える死という恐れの中で生きなければならない人々への生き方の一つの啓示」と捉えても間違いではないと知った時、頭に浮かんだのが教育勅語であります。

私は、日本人としての正しい生き方の手本は教育勅語にあると強く信じており、学校に掲額することまでは望みませんが、少なくとも学校や家庭で教えるべきであると思っております。そんなことから、議会でも問題提起しておりますし、数年前から成人式の祝辞でも、新成人にどうしても伝えたいくんだり、新成人の皆さんにも分かるように話しております。それは、「父母二孝二兄弟二友二夫婦相和シ朋友相信シ」という一節と、「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ」という一節であります。

この寄稿文で教育勅語を書くことも私の「Carpe diem」の一つであります。

皆様の「Carpe diem」は、宮津・与謝の青年として、まちの歴史・文化・ところを継承し、誇りと知恵と想像力を持ち合わせ、共に歩み、絆を深め、新しい明日へ向かい果敢に行動することであると知りました。信ずる道をひたすら突き進んでください。

結びに、皆様の今後の活動が、大きな成果をあげることをご期待申し上げますとともに、未来が、皆様にとりましても、この地域にとりましても、輝かしいものとなりますことを祈念いたしまして、私のお祝いの拙文といたします。

## ご祝辞



宮津市長

井上 正嗣

社団法人宮津青年会議所が、創立45周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。宮津青年会議所におかれましては、創立以来、「修練」、「奉仕」、「友情」という三つの信条のもと、明るい豊かな地域社会を目指して、「クリーンはしだて1人1坪大作戦」などの社会奉仕活動への参加、青少年の健全育成活動をはじめ、市町長選挙などでは公開討論会を企画・開催されるなど、その多彩な活動に改めて敬意を表する次第でございます。特に近年は、宮津・与謝の1市2町共同で取り組んでおります「天橋立世界遺産登録運動」において、平成20年のHAND in HAND を皮切りに、シンボルマークの製作や天橋立ラッピングバスの運行など、地域住民を巻き込んだ気運醸成活動に精力的に取り組んでいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。世界遺産登録を目指す道のりは長く厳しいものです。専門的な視点からのアプローチも必要ですが、何よりも大切なのは、住民の天橋立を愛する気持ち、意識の高まりであると考えておりますので、今後ともお力添えを賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

さて、当地域はこれまでから「産業の停滞」「人口減少」「地域力の衰退」という構造的なマイナス連鎖に陥っており、地域経済界の状況は年々厳しさを増しているものと認識しております。宮津市としても、このマイナスの連鎖を断ち切らない限り、当地域の将来の発展はないという強い危機感を持って、行政運営に当たっております。長年抱える課題であり、一朝一夕に解消できるものではありませんが、住民、事業者の皆さんと一緒に立ち向かっていきたいと考えております。特に、産業振興といった分野は、行政と事業者の皆さんが一緒になって、まさに二人三脚で進めていかなければならないものであります。そして、行政は事業者の皆さんが伸び伸びと活躍できるフィールドづくりを担い、そこでプレイする言わば主人公は、事業者の皆さんであると考えております。宮津青年会議所の皆様方には、本地域の発展のために、次代を担う経済界のリーダーとして、更なるご活躍を期待するところでございます。

結びに、創立45周年を迎えられました社団法人宮津青年会議所の今後ますますのご発展と、会員皆様のご多幸、ご繁栄を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

伊根町長

吉本 秀樹



社団法人宮津青年会議所の創立45周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。また、会員の皆様方におかれましては、平素から経済・産業の振興はもとより、明るく豊かな地域社会の実現に向けて積極的なまちづくり活動を展開され、地域の発展に多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げますとともに、歴代関係者の深甚なるその熱意に心から敬意と感謝を表します。

さて、国内外において政治経済が混沌としております。JCのOBとして自身の現役時代（昭和50・60年代）を振り返ると、激動の時代などよく思ったものです。しかし、今に比べれば大変恵まれていたと感ずる、現役メンバーは、会社経営に、町づくりに大変でありましょう。松下幸之助は「好景気よし、不景気またよし」と言った。好景気は、ほっておいても、誰がやっても、そこそこ行く。現状維持でき反省・改革が無い。その点、不景気は大変、このままでは潰れる、抜本的な改革が必要、経営力がないとやっていけない。経営の差は不景気で付く。よって、「不景気またよし」と言うことであろう。我々共に泣き言を並べても物事は始まらない、与えられた試練を天から授かった有難いチャンスと考えようではないか。

本町では、平成22年に第5次伊根町総合計画を策定いたしました。本総合計画は「ひとが生き生き」をキャッチフレーズとし、町民のすべてが幸せを感じる施策に取り組み、小さくてもオンリーワンの町づくりを目指しています。地域主権への転換期に本町の行政運営においても、権限や財源を着実に確保しつつ、恵まれた地域資源を活かした施策を幅広く展開し、交流人口の増加と経済の発展を基軸に、福祉、医療、教育等が充実する行政の推進を目指したと考えております。このようなまちづくりを推進していくためには、貴会議所の会員皆様方の若い行動力、そして、皆様方には45年の間、脈々と受け継がれた宮津・与謝を愛する精神を遺憾なく発揮し、積極果敢な事業展開こそが宮津・与謝地域の振興に寄与する大きな原動力であると確信いたしております。次代を担うリーダーとして、今後も本地域の飛躍を目指すまちづくりに一層のお力添えとご指導を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、社団法人宮津青年会議所の今後益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## ご祝辞



与謝野町長

太田 貴美

社団法人宮津青年会議所が創立45周年という記念すべき年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

宮津青年会議所では、昭和43年の創立以来、共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとで、明るい豊かなまちの創造を目指して、代々この地域で活躍されています青年の皆さんが、相互に信頼と親睦を深められ、活動されてきました。

また、45年間という長い間、この地域のあらゆる分野で新しい風を吹き込み、活躍されてきたことに心から敬意を表する次第です。

与謝野町は、誕生して6年が経ち、「持続可能なまちづくり」という目標に向けて、「与謝野町総合計画」の中で掲げてきた「自助」「共助」「商助」「公助」をお互いに実践し、協働のまちづくりを進めています。まちづくりの主役は、その地域に住むみなさん一人ひとりであり、行政は、そんな皆さんの夢や目標への挑戦を応援し、一人ひとりが輝けるよう支えていきたいと考えております。

そこで、この宮津・与謝地域で、宮津青年会議所のみなさんの若いエネルギーを持って、時代と地域に即応した「まちづくり・ひとづくり・組織づくり」に取り組まれ、活躍されることを期待しています。

また、先輩方が長きにわたって築きあげてこられた伝統と歴史を守っていただきながら、みなさんのスローガンである「絆の力」で、明日の宮津・与謝を創造する地域に根ざした組織であり続けることを望みます。

結びに宮津青年会議所の今後ますますのご活躍、ご発展と関係者のみなさまのご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

宮津市議会議長

小田 彰彦



宮津青年会議所の創立45周年おめでとうございます。

私もはるか28年ほど前にJCを卒業した身ですので今更ながら感慨深いものがあります。時代も変わり経済的な環境も違いますが、やはり20代、30代の多感な時は人間の成長という面からは大変意外性に富んだ時でもあり、JC活動を通じて「開発する主体が開発される」醍醐味を是非体験していただきたいものと思います。また夢や悩みを共に分かち合う友を得る大事なときでもあり、仕事だけでは得られない多くの財産に恵まれる時ではないかと思っております。どうか丁寧にまじめに、そして思い切りJCライフを謳歌していただきたいと思っております。

さて、議会とJCとは特に最近は接触を持つ機会が増えてきているように思います。議会も全国的に「議会基本条例」なるものを作って「開かれた議会」を目指し対外的な活動を強化しようと努めておりますので、丁度いいタイミングで議論ができていくように思っております。議員はそれぞれの地域、団体、政党などから選ばれてくるだけに、ひとつの案件にも賛成や反対があり、決してまとまりがよいということはありません。しかしよくご承知の通り、市長あるいは町長も直接に選挙で選ばれます。そして予算を編成し政策を議会に提案してきます。議会とは提案された政策を審査し多数決でこれらを決めてゆく場所なのであります。つまり住民の意志をここで決定するという大事な場所でもあります。議員はこれらを決定する上において高度な倫理性、公平性、また将来性、経済性など住民福祉に役立つ観点からの深い洞察力が求められるものと考えております。故に市民に対し「議決責任」を有するものであり、それらの「説明責任」を伴うものであると考えられます。その意味から言っても議会は「開かれた」ものであらねばならないと考えております。

われわれ議員もみなさん方と対話の機会がもてることを大いに期待いたしております。

## ご祝辞



伊根町議会議長

宮下 愿吾

宮津青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。宮津青年会議所の皆様におかれましては、「宮津・与謝はひとつ」という理念のもとに、町づくりやボランティア、そして多くの地域貢献・地域活性化等の事業に積極的に取り組んでこられました。地域に根ざした団体として、先輩から後輩へと受け継がれ、多くの積み重ねられてこられたJCの活動により、地域の発展に尽くされてこられたことに、深く敬意を表します。

長年にわたり、脈々と受け継がれてきた英知と勇氣、そして情熱は、今なお守り継がれて、各事業の実施や、また、各委員会で多くの地域の課題に取り組んでこられました。特に、まちづくり委員会が昨年度「地方自治について」取り組んでこられました。私たち議員も、そういった機会によって、首長、議会、住民の果たすべき役割について、それぞれが役割分担をすることによって、団体自治と住民自治との2つの要素が機能した、地方自治の本旨について改めて考える機会となりました。現在は少子高齢化、そして今まで経験したことのない経済も低成長時代が続いていますが、強い「志」があればどんな困難も克服し物事が成就するものです。今後も先人の伝統を受け継ぎ、この記念すべき45周年を契機に、アイデアあふれる取り組みをさらに充実され、豊かで活力ある地域社会の実現に向け、引き続きご活躍されますことを心からご期待申し上げます。

創立45周年という輝かしい節目を迎えられ、山添理事長をはじめ、会員の皆様のみならずのご発展とご健勝をご祈念申し上げ、記念誌発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。

与謝野町議会議長

赤松 孝一



社団法人宮津青年会議所が創立45周年という記念すべき年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

宮津青年会議所は、創立から現在までこの地域において、多くの青年の皆さんがまちづくり・地域社会づくりを熱心に取り組んでこられる中で、お互いの親睦と信頼を深めてこられました。

このたび、45周年の記念誌を発刊されるにあたり、これまでの45年の歴史を振り返り、新たな時代へ向かってステップアップされることは大変意義深いと思います。

さて、3町合併による与謝野町が誕生してからやや6年が経過し7年目に入っております。地方分権時代を迎えて、ますます厳しい財政状況とともに行政需要が増大する中、まちが自らで決定し、自らが責任を負わなければならない範囲が拡大してきており、議会が地域の発展と福祉の向上のために果たす役割は大きいものがあると思います。議会においては、積極的に情報を公開して、町民が政策活動へ参加しやすいよう推進するとともに、町民に信頼される議会を築かなければならないと思っています。本年3月には、議会の憲法とも言われる「議会基本条例」を制定しました。町民に開かれた議会活動と、住民参加の議会運営を進めることを定めています。議会における傍聴やテレビの中継、議会だよりやホームページなどで町民に報告するとともに、今年度から町民との情報交換や意見交換する場として、議会懇談会を開催しています。議員は町民から選ばれた代表として、公平な立場に立ち、町民から信頼を得るよう、住民全体の利益のために今後も取り組んでいく所存でございますので、宮津青年会議所の皆さん方におかれましても、今以上のお力添えを切にお願い申し上げます。

結びに、宮津青年会議所の皆さんにおかれましては、若い力と行動力で地域の皆さんとの『絆』をさらに深められ益々発展されますとともに、関係者の皆様のご健闘とご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## ご祝辞

公益社団法人日本青年会議所  
第61代会頭

井川 直樹

社団法人宮津青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立以来、地域社会の発展にご尽力されてこられました先輩青年の皆様のご功績に心から敬意を表しますとともに、誇り高き志を受け継ぐ現役メンバーの皆様にも心より感謝とお祝いを申し上げます。

日本青年会議所では、2011年に創立60周年を迎え、10年先をしっかりと見据えた俯瞰的な視野と意識変革が求められるなか、『己を律し、行動するJAYCEE 「自立」と「共助」が調和し、「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」が漲る社会へ』を2010年代の運動指針として発信いたしました。そして、本年は『呼び覚ませ 日本のプリンシプル!』のスローガンのもと、東日本大震災に対する復興支援はもちろんのこと、日本の構造的な問題と解決しなければならぬ課題に対し、全国の同志とともに日本の青年としての矜持を持って具体的な運動を力強く展開することで、自らの意識を変革し、市民の意識を変革してまいります。「震災後」とよばれる新たな時代を築くために、私たち青年会議所メンバー一人ひとりこそが、時代の先頭に立ち、変化を創り出す「変わらないために変わる」行動を起こしていかなければならないのです。

志を同じくする宮津青年会議所の皆様におかれましては、「絆の力 ～想いをひとつに 誇れる宮津・与謝の創造!～」をスローガンに掲げられた山添宏明理事長の卓越したリーダーシップのもと、創始の精神と紡いできた歴史を継承し、地域における今、求められる時代の必要に対し、力強く応えられますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、日本青年会議所は、これからもいつもLOMの隣で運動を推進してまいります。「凛然とした誇りある国」日本の創造に向けて、ともに歩み続けることをお約束し、また、貴青年会議所が地域において最も頼られ必要とされる青年の団体としてご活躍され続けることをご祈念申し上げ、創立45周年のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所  
近畿地区協議会 会長

平山 伸吾



社団法人宮津青年会議所が山添宏明理事長の素晴らしいリーダーシップのもと、記念すべき45周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

さて、宮津JCは創設当初から続く創始の精神を今に受け継ぎ、今日まで故郷を愛する心と己を律した行動で、未来に誇れる明るく豊かな宮津を築くための運動を数多く展開されて参りました。歴史を紡いでこられた歴代理事長および先輩諸兄、並びに現役会員のご努力に心より敬意を表し、ご協力を賜りました全ての方や諸団体に感謝申し上げます。

周年とは、歴史を紐解くことでLOMの生い立ちや歩みを知り、地域社会の現状を分析し、自らの立ち位置を確認した上で「何が求められているのか」「何をしなければならないのか」を狙い定め、未来への確かな物語を描く機会です。自身が所属するJCという団体が何であるのかの根本を深く理解し、どのような思いで先達が青年の運動を継承されてきたのかを感じることは、未来を語る上において重要な要素です。

我が国は多くの困難を抱える中に加えて、大震災や原発事故が発生し未曾有の国難に直面しています。故郷を元気にすることの集大成でしか国の復興を成しえることはできず、地域で活躍するLOMの使命はこれまで以上に大きいのです。地域から最も信頼される唯一無二の青年団体であり続けるために、地域の他団体や住み暮らす人々と有機的な連携を構築し、さらには、安定的に維持発展する社会を築くためのキーパーソンとなり得るJAYCEEを育成していくことが必要です。

結びに、時代は変われども、今を憂い、未来を創る行動を興すのは青年の役割であり、成し遂げることは我々の責任であるのです。青年としての矜持を大切にされた会員の更なるご活躍と、45周年という節目を経験された宮津JCの一層の発展を衷心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## ご祝辞



公益社団法人日本青年会議所  
近畿地区京都ブロック協議会  
会長

広瀬 達也

社団法人宮津青年会議所が、創立45周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。これまで京都ブロック協議会に対しましては、貴青年会議所から中核を担う多くのメンバーを輩出され、誇れる京都ブロック協議会の発展にご尽力された先輩諸兄、そして、現役メンバーに対し深く感謝申し上げます。

また、貴青年会議所におかれましては、創立以来、歴史や伝統を育まれ、地域の発展のために力強く活動してこられ、これまでの先輩諸兄から脈々と受け継がれてこられた情熱を絶やすことなく、不断の努力でJC運動を築いて来られた輝かしい実績と歴史に敬意を表します。本年度は、山添理事長の下、「絆の力」～想いをひとつに誇れる宮津・与謝の創造!～のスローガンのもと、メンバー全員が固い絆によるひたむきな想いで、「明るい豊かな社会」の実現に向けて青年会議所運動に邁進されていることは、同志として心強い限りであります。

本年度京都ブロック協議会は、「誇れる京都の継承サステナブルな京都の実現」をスローガンに活動しております。「今の豊かさ」を守り、誇れる京都をさらに発展させるためには、人の繋がりを有機的に幾重にも結び合わせ、郷土を愛する気持ちを受け継ぎ一層育むことで、今以上に、安定的に維持・発展するサステナブルな京都の実現に向けて取り組んでおります。そして、次年度京都ブロック協議会会長には、宮津青年会議所から山添理事長という素晴らしいリーダーを輩出していただき、更なる京都ブロック協議会の発展を確信しております。

結びに、創立45周年を迎えられた社団法人宮津青年会議所の益々の発展と、次年度京都ブロック協議会の先導役としての活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

スポンサーJC  
(社)舞鶴青年会議所  
理事長

堀口 宏之



社団法人宮津青年会議所様が、本年創立45周年をお迎えになられましたことを心より御祝い申し上げます。

今日まで45年という長きに亘り、JC運動・JC活動を連綿と継続してこられましたのも、地域市民、行政、関係諸団体並びに関係各位の皆様のご理解・ご支援の賜とスポンサーJCとして心から感謝申し上げますと共に、「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと、1968年に発足されて以来、「明るい豊かな社会」の実現のために英知・勇気・情熱をもって地域に根ざしたJC運動・JC活動を展開されてこられた社団法人宮津青年会議所の多くの諸先輩方をはじめ、全ての会員の皆様に深く敬意を表する次第で御座います。

近年の社団法人宮津青年会議所様の取り組みでは、天橋立という世界に誇る地域の資産を十分に活用され、宮津・与謝地区の多く地域の方々と共に考え、行動されるまちづくり事業の実施や、次代を担う青少年の健全育成に重きを置いた、その親世代も巻き込んでのひとづくり事業の実施など、しっかりと軸をおいた運動展開を会員一丸となって取り組んでこられました。宮津青年会議所様の様々な取り組みの中で、地域の方々の老若男女多くの笑顔を目にするにつけ、そのご活躍ぶり、地域社会への浸透の度合いは容易に拝察できるところであります。

私たち社団法人舞鶴青年会議所は、先輩諸兄が創立時にスポンサーJCを努めさせて頂いた縁を大切に、志を同じうする仲間として、社団法人宮津青年会議所様と今後も切磋琢磨をしながら、創始よりの友情を受け継いで参る所存です。社団法人宮津青年会議所の皆様、創立50年という大きな節目、そして更なる高みに向けて、変わらぬ想いのもと絆を固めていただき、常に地域社会に必要とされる地域青年会議所として 今後、益々躍進されますことを心からご祈念申し上げ、御祝いの言葉とさせていただきます。

## ご祝辞



姉妹JC  
大松山国際青年商會  
會長

王 有得

(台湾語)

欣逢宮津青年會議所45周年慶，本人謹代表大松山青商全體會友，獻上十二萬分的祝福。

這是個充滿光輝的時刻，也是充滿希望的日子，恭賀宮津青年會議所生日快樂。

青商的使命，在於每位分會成員，會長及前會長於年度內為青商會完成各項會務工作，讓每一屆的青商起跑。青商傳承不斷的運轉，猶如一場"接力賽"，交棒的人完成各階段的任務，交出美麗的成果；接棒的人，肩負使命，努力向前衝，這正是青商的魅力所在。

宮津與大松山於1987年締盟，情誼延續至今實屬不易，每思及此對付出努力的前輩們都萬分感謝。兩會間情誼是宮津與大松山共同的寶貴資產，讓我們祝願宮津青年會議所與大松山青商會能延續過去的努力，與時俱進，一同進步，走向未來!

祝宮津青年會議所會務昌隆，慶典圓滿成功。

(日本語)

社団法人宮津青年会議所が45周年を迎えるにあたり、大松山青年会議所全てのメンバーを代表いたしまして心からの祝福を述べさせていただきます。

宮津青年会議所様は輝きと希望に満ちたこの時を迎えられました。本当に生誕周年おめでとうございませう。

青年会議所の使命、それは毎年度、全てのメンバー、理事長、直前理事長が青年会議所のために全ての職務を全うし、一年ごとに青年会議所を進化させることです。青年会議所はリレーのように途切れることなく続いていきます。バトンを渡す人は様々な任務を成功させ、素晴らしい成果を生み出し、バトンを受け取る人は新たに使命を背負い、さらに運動を前進させる、これこそが青年会議所の魅力であります。

宮津と大松山は1987年に姉妹JCを締結しました。この友好関係を今日まで続けてきたことは容易なことではなく、この友好関係維持に御努力されてこられました先輩の皆様方に常に心より感謝しております。この2LOM間の友情は宮津と大松山が共有する貴重な宝でありますので、私たちは今までの努力を継続していくことを心から願い、共に未来へ向かって進んで参りませう。

今後さらに続く宮津青年会議所の運動が益々発展し、円満に成功を収められますことをお祈り申し上げます。

Table with columns for year (1968-2012), main business, president, and membership count.



45年間のあゆみ







(スローガン)

# 途中修練、最後必勝

～我らの情熱でこの時代を打ち破ろう～

第41代理事長 加畑輝行

【基本方針】 1.JCだからこそ、情熱をもって行動しよう 2.JCだからこそ、道徳心を大切にしよう 3.JCだからこそ、強い友情と絆を共有しよう

## 「探そう地域の未来ビジョン」～気づき行動することの大切さ～



日時:2008年4月17日(木)  
場所:みやづ歴史の館

この事業は、井上正嗣宮津市長と加畑輝行理事長の対談を企画。冒頭では、パワーポイントを使いこれまでの宮津JCの活動の紹介、運動指針の紹介、マニフェストサイクルの意義等を確認しました。対談では、主に天橋立の世界遺産登録推進運動、市民との協働運動、市長が掲げられたローカルマニフェストの進捗状況など、多彩な話題が繰り広げられ、大変有意義な事業となりました。



## 「ともに語り合おう! まちの未来」～若き力の政策討論会～



日時:2008年10月16日(木)  
場所:府中の郷

この事業は、1市2町より若手の市議会・町議会議員の皆様にご参加をいただき、宮津JCメンバーも交えて、架空の議案をもとに「賛成派」と「反対派」に分かれ、議論を展開するという設えといたしました。架空の議案とはいえ、我々の住むまちの未来に密接に関わる3議案で、議論は白熱し、本気の対話をする事が出来、参加者にとって大変有意義な事業となりました。



## 1月例会及び5月例会100%例会出席達成!



## 2009年度京都ブロック協議会 褒賞 グランプリ受賞 天橋立世界遺産登録推進運動

### 「HAND in HAND 天橋立」 ～2008人でつなぐ天橋立～ 残そう! 未来の子どもたちへの贈り物

日時:2008年6月21日(土)  
場所:天橋立松並木

2280名の皆様の想いが一つに! 「天橋立を世界遺産にする会」および「天橋立公園継承準備委員会」と共催事業として天橋立の世界遺産登録に向けて、また、地域を守り伝える大切さを育む運動として「HAND in HAND 天橋立」と題し、2008人で全長2.2キロに及ぶ天橋立を、参加者全員で手を繋いで結ぶ事業を宮津JCが中心となって企画しました。当日は目標である2008人の動員をはるかに上回る2280人の皆様にご来場いただき、天橋立を見事結ぶことが出来ました。また、御来賓として、山田啓二京都府知事、多賀久雄京都府議会議員、井上正嗣宮津市長、太田貴美と謝野町長、吉本秀樹伊根町長にご参加いただき、松の植樹をしていただきました。



## 「集え!若き経営者」～意識が変われば会社は変わる～



日時:2008年5月12日(月)  
場所:みやづ歴史の館

若い世代の経営力向上に実績のある(社)水戸青年会議所OBの茨城県経営品質協議会代表、鬼澤慎人氏を講師にお招きし、「経営者とはどうあるべきか」について、業績が好調な企業の具体的な事例を交えながら講演いただきました。また、この事業はオープン事業とし、地域の他の青年団体の方にも多数ご参加いただきました。講演内容は、参加者に常に質問をしながら、聞くだけでなく参加する形式で、大変有意義な事業となりました。



## 「親子でパズルをときあかせ!」～みつけよう! 互いの想い～

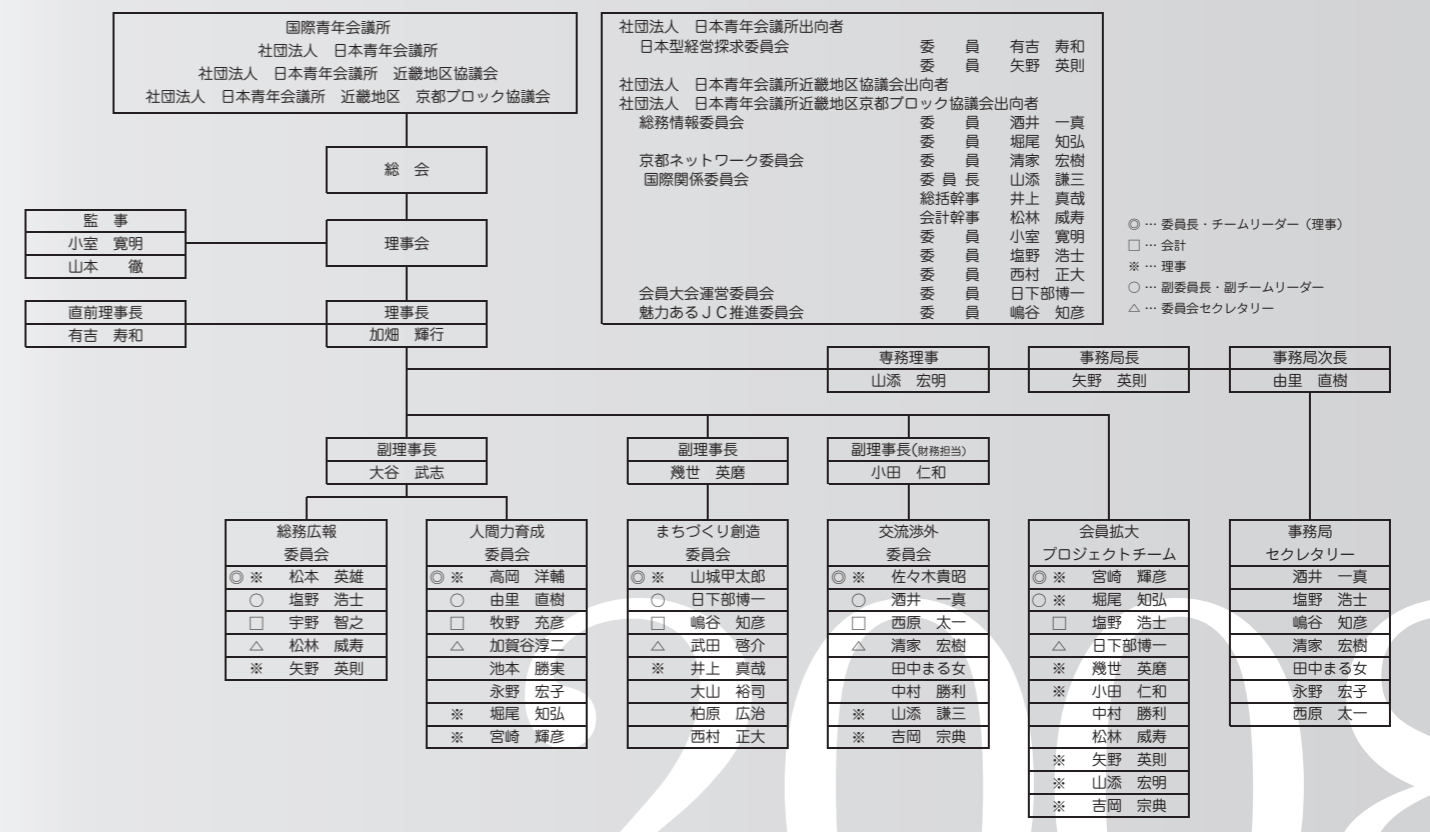


日時:2008年9月21日(日)  
場所:文珠・天橋立・府中周辺

「思いやりから信頼関係を育む」をコンセプトに、天橋立一帯をフィールドとしてウォークラリー形式の事業を行いました。親子で協力してクロスワードパズルを解いたり、日頃なかなか親子で話せないことをお互いに語る場をもうけたり、また移動手段として汽船やリフトを盛り込んだりと、楽しい設えとしました。参加者募集の告知をして数日で定員の140名に達するといううれしい出来事もあり、一市二町の小学校1～6年生の児童及び保護者の皆様にご参加をいただいて、充実した事業となりました。



## 2008年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

# Challenge for Dream

～時代の本質を捉え、「輝く未来」へ踏み出そう～

第42代理事長 幾世英磨

【基本方針】 1.物事の本質を捉え行動しよう 2.常に高い志を持って行動しよう 3.組織の強化、活性化に努めよう

## 2010年度公益社団法人日本青年会議所 AWARDS JAPAN2010 地域のたから発掘部門 優秀賞・2010年度京都ブロック協議会 褒賞 グランプリ受賞 天橋立世界遺産登録推進運動

### 「目指せ世界遺産!天橋立を世界へ!宮津・与謝ふるさと絵巻」

～知れば知るほど好きになる!地域の宝がここにある～

日時:2009年6月7日(日)  
場所:京都府立丹後郷土資料館前広場及び旧長島家  
主催:(社)宮津青年会議所、天橋立を世界遺産にする会

天橋立を世界遺産にする会との共催事業である、宮津・与謝ふるさと絵巻が京都府立丹後郷土資料館前広場及び旧長島家で開催されました。当日の天気はやや悪く小雨が時々降る中での開催でしたが、約500名もの来場者があり、郷土料理の「だいごめし」や郷土芸能の「太刀振り」、そしてメインであるこのまちの民話や神話をまとめた絵本の上映会を楽しんでいただきました。絵本の上映会をするにあたって地域の小学生にナレーションをお願いし、絵本の挿絵を巨大スクリーンに映しながら音読していただきました。地域の宝を知り、郷土を愛する心を育む事業となりました。



## 2010年度公益社団法人日本青年会議所 AWARDS JAPAN2010 青少年部門 第3位

### 「親子DE挑め!天橋立フィールドBINGO」

～やってみよう知恵と工夫 気づこう無限の可能性～

日時:2009年10月11日(日)  
場所:天橋立公園周辺及びビューランド

晴天に恵まれた中、天橋立を舞台に「親子DE挑め!天橋立フィールドBINGO」という親子参加型の事業を開催させていただきました。橋立のフィールドに隠されたビンゴの数字のシールを探しながら、「運ぶ」「測る」「作る」「伝える」の4つのエリアを親子で知恵をこぼってクリアしていくことで、あきらめず工夫していけば何事も達成するということを学んでいただきました。お昼からは場所を橋立ビューランドに移し、与謝野町出身でプロ野球選手の日本ハムファイターズ糸井選手のビデオメッセージを見ていただき、子どもたちの無限の可能性に気づいてもらったうえで改めて夢を書いていたきました。そしてその夢を展望台から天橋立の松並木に向かって叫んでいただき、子どもたちの夢への一歩となりました。



### 「“仕事力”向上セミナー」

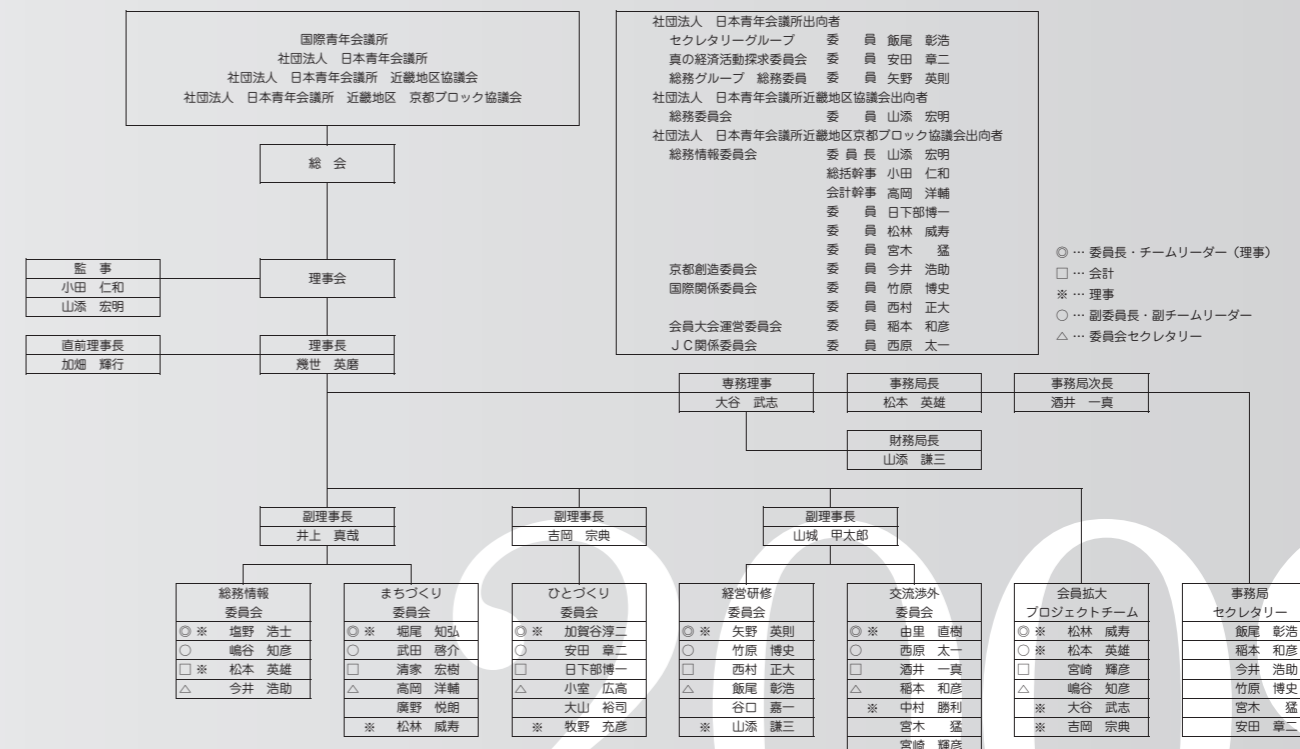
～今こそ、一足先を見据える「タイムマネジメント」を徹底しよう!!～

日時:2009年11月25日(水)  
場所:みやつ歴史の館

株式会社原田教育研究所 代表取締役社長 原田隆史氏を講師にお招きしご講義いただきました。原田先生の20年間大阪の中学校に勤務されたご経験談をもとに、ご自身が生徒と向き合われた実例を交えて、わかりやすく、面白くそしてポイントをおさえながら講義いただきました。



## 2009年度 (社)宮津青年会議所 組織図



### 「大人のハートに元気玉」～大人が変われば子どもも変わる 輝け!子どもの夢と可能性～



日時:2009年5月28日(木)  
場所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

講師にドラゴンボールの脚本家である小山高生氏をお招きして講演会を開催させていただきました。自称「アジア最大の脚本家」といわれるのは身長が194cmあるからなどジョークを交えながら、子どもに道徳心を伝えるにはまず大人がかわることが大切であること、可能性を引き出すために大人がすべき事などを伝えていただき、私たち大人に向けて「元気玉」のタネをまいていただきました。

### 「ローカルマニフェスト検証大会」～さあ、このまちの未来をみんなで創ってこう!～



「JCあきんど塾」～未来を拓くために、志向力を磨く～

100%例会達成(8月例会)